



大雨は命を奪う恐れがある。

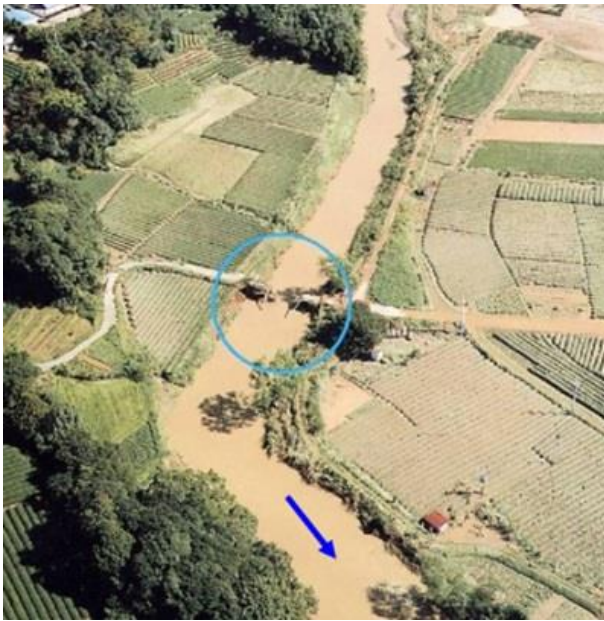
今年7月に発生した豪雨では、九州を中心に記録的な大雨が降り続き、**河川の氾濫、土砂崩れが相次いで発生**しました。また、「**土砂災害警戒区域**」周辺で発生した土砂崩れにより犠牲者も出ています。

菊川市でも、特に**昭和57年**に大きな被害が発生していたことを皆さんはご存知でしょうか。

「昭和57年9月12日 台風18号」

河城で**1時間雨量 80mm**
平田で**総雨量 472mm**

昭和57年9月12日の15時40分頃に、台風18号は御前崎市の西側に上陸、菊川流域を直撃。この台風の影響により、**菊川・牛淵川では観測史上最大流量を観測し、菊川市吉沢地先（菊川右岸17.0km付近）の決壊氾濫、八王子橋（菊川市本所）が流失**するなど広範囲に浸水被害等が発生しました。



菊川 水神橋の落橋（潮海寺地内）

旧菊川町の被害

**死者1人、負傷者2人、全壊13戸、半壊3戸、
床上浸水408戸、床下浸水1,037戸**

旧小笠町の被害

**床上浸水58戸、床下浸水306戸、
田畑冠水556ha**



浸水した実績（水色の部分）

「ハザードマップで災害の危険を把握しよう！」

自分の命を守るために一番有効なのは危険から身を遠ざけることです。危険とは、例えば大雨が原因となる川の氾濫や、山が崩れる土砂災害です。そのために必要なことは、自分の今いる場所（自分の住んでいる家など）がどういった災害の可能性があるかということを知ることが重要です。**菊川市ハザードマップ**で身の回りに潜む危険を必ず確認しましょう。

「市ハザードマップで知ることができる災害」 水害

○菊川、牛淵川・・・100年に1回程度の大雨（約1時間で80mm）が降り続けた際に想定される浸水する可能性のある地域。

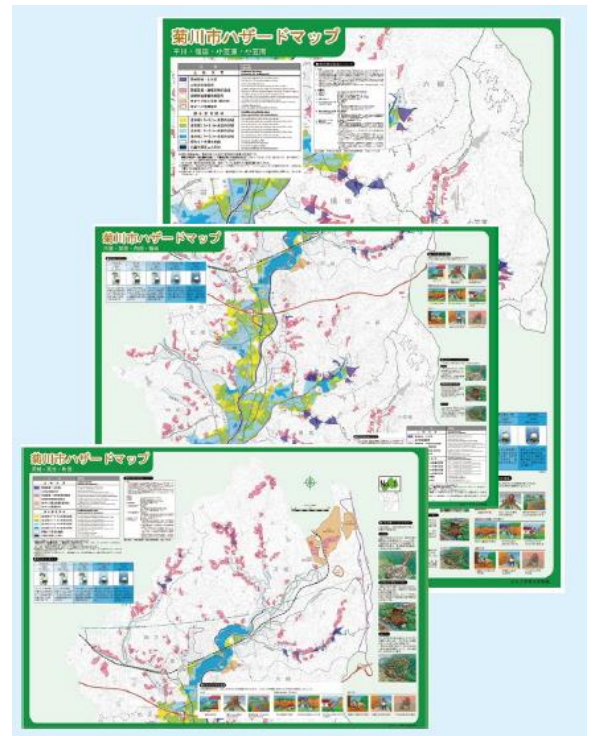
○その他の河川・・・昭和57年9月台風18号の際に浸水した実績のある地域。

土砂災害

○土石流、がけ崩れ、地すべりの可能性がある地域。

その他の災害（液状化、震度分布など）

※平成30年7月豪雨で被災した自治体はハザードマップと大体同じ場所で被害が出ています。



危機管理課窓口や市ホームページで閲覧可能

「市からはどのくらい避難情報が出されているの？」

【平成30年4月1日～平成31年3月31日までの間に菊川市が発令した避難情報】

| 日付 | 発令された避難情報 | 気象など | 開設した指定避難所 | 避難した人数 (市内合計) |
|------------------|-----------------------|------------------|----------------|------------------|
| 平成30年6月20日～21日 | 避難準備・高齢者等避難開始 避難勧告 | 大雨警報 土砂災害警戒情報 | 2箇所 (横地、平川) | 2人 |
| 平成30年7月28日～29日 | 避難準備・高齢者等避難開始 | 台風12号 | 15箇所 (全域) | 29人 |
| 平成30年9月4日～5日 | 避難準備・高齢者等避難開始 | 台風21号 | 15箇所 (全域) | 6人 |
| 平成30年9月30日～10月1日 | 避難準備・高齢者等避難開始 | 台風24号 | 15箇所 (全域) | 25人 |

※避難情報が発令されても、住んでいる場所によっては必ず避難しなければならないものではありません。

※出された避難情報をもとに、自分の命を守るために最善の行動をしてください。